

カフェレター



2020年11月19日発行
発行:たかみや人権福祉センター
☎57-1330

毎日通勤で通る原山農道の秋が深くなってきました。真っ青な空と赤や黄のコントラストが美しく、そして、静かな落ち着いた佇まい、もうひと時、この心地よい季節を楽しませてもらいたいですね。県北の厳しい冬がすぐそこに、順番待ちをしていますから。

そろそろ年賀状の準備でしょうか。早いですね。若い子たちは、スマホで新年の挨拶をするようで、年賀状のやり取りは最近はあまりしないみたいですね。

しかも「あけおめ」「ことよろ」で、略式と言うか、徹底して省力化と言うのか、文化も伝統もわけわかんない。

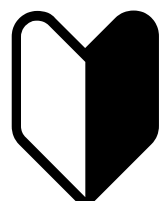
「昔は、日本には年賀状と言うものがありました。」
こんな風に時が流れていくのでしょうか。



今年は、コロナで人と会う機会がめっきり少なくなりました。忙しい年末に、きっとしんどい思いをするのだとは思いますが、いつも以上に心を込めて年賀状を書いてみようと思います。もうきっと、会うこともない人達との、年に一度のつながりであったりもします。大切にしたいです。

作ってみました！

消しゴムハンコと言うのを初めてやってみました。小学生の頃、図工の時間に木版画をしたことがありますが、それと同じような感じで、消しゴムを削るのは、木よりもやりやすかったです。極めれば、色を重ねたりして、ステキなものができるのだと思います。



まちかどカフェでは、ときどき、原田にお住いの土井妙子さんと一緒に、羊の毛を使った小物づくりをしています。土井さんは、糸車で羊の毛を紡いでセーターを作られたり、羊毛をフェルトにして素敵な雑貨を作ったりされています。自然な暮らし方をとても大切にされている土井さんから、メッセージをお寄せいただきました。

土井さんからのメッセージ

こんにちは

まちかどカフェで羊毛を使った小物づくりをさせていただいています。

私は、15、6年前、高宮町に移り住み、自然の中で、羊の毛を主に、糸紡ぎ、編み物、フェルト、織物・・・をしています。

羊の肉は、食用に（国産の羊肉は美味です）毎年、刈り取られる毛は、セーター、マフラー、帽子・・・になり、寒さから身をまもってくれるとても有用な生き物だと思い、20年以上はまっています。

今、マイクロプラスチックが環境問題となっていますね。

アクリルたわしも石油で出来ているので、残念ながらエコではなかったのです。

私は、ずっと前から、羊の毛でたわしを作り、使っています。

羊毛なので、だんだんと縮んでしまいますが、羊毛はタンパク質なので、最後は土に戻ります。

今は、コロナでまちかどカフェがお休みですが、又、再開の時は、羊毛たわし作りのワークショップをしたいと思っています。

その時は、ぜひ、作りに来てください。

土井妙子



お知らせ

- ご紹介した消しゴムハンコをセンターでお使いいただくことができます。
- 年賀状やポチ袋など、消しゴムハンコで作ってみようかな、と思われる方は、事務所にお声がけ下さい。
- 期間:11月24日(火)~11月30日(月)の平日10時~16時の間
- 上記以外でも、ご相談に応じる気持ちはあります。